

# タークの英語ドリル

## *Part kindle*

### 関係代名詞と関係副詞



### 構文解析による完全解説

第1文型    **S**<sub>エス</sub> **V**<sub>ブイ</sub>

第2文型    **S**<sub>エス</sub> **V**<sub>ブイ</sub> **C**<sub>シー</sub>

第3文型    **S**<sub>エス</sub> **V**<sub>ブイ</sub> **O**<sub>オー</sub>

第4文型    **S**<sub>エス</sub> **V**<sub>ブイ</sub> **O**<sub>オー</sub> **O**<sub>オー</sub>

第5文型    **S**<sub>エス</sub> **V**<sub>ブイ</sub> **O**<sub>オー</sub> **C**<sub>シー</sub>

関係代名詞とは、というより関係代名詞節とは、  
名詞の補足説明または詳しい説明です。

例文で言いますと、

**My french teacher** has a big library.

「私のフランス語の先生は大きな図書館を持っています。」となります。  
ここでもう少し **My french teacher** 私のフランス語の先生  
と a big library 大きな図書館について詳しく説明すると、

『京都に住んでいる』私のフランス語の先生

『1962年に建てられた』大きな図書館

のように 『 』内が関係代名詞節になります。順に訳すと

**My french teacher** 『who lives in Kyoto』

a big library 『which was built in 1962』

となり、きれいに書き直すと

**My french teacher** who lives in Kyoto

is a big library which was built in 1962

「京都に住んでいる私のフランス語の先生は

1962年に建てられた大きな図書館を持っています。」

となります。この **who** や **which** などを関係代名詞と言います。

関係代名詞節は、名詞を説明する文ですので基本的には説明する名詞の直後にあります。その説明される名詞のことを『先行詞』と言います。当たり前ですが、先行詞は100パーセント名詞です。

関係代名詞を理解するには、2文をつなぐのトレーニングをするのがいいですし、試験にもよく出てきますので以下の解説を見てしっかりと学習してください。頑張ってくださいね!!

英語なんて知ってるか知らんかだけです。

構文解析を通して単語を覚えれば終了！誰でもできます。

小学二年生が九九を覚えるときの苦労と

中学生が英文法を完成するときの苦労は同じ程度ですよ。

私は「九九が完璧です」って言ったら皆さんどう思われますか？

そんなん当たり前でそれがどうしたと？なりますね！しかし、

「英文法完璧」と言ったら、皆さんどう思われますか？

すごい！となりませんか？ しかし、それは完全な間違いです。

英文法も九九と同程度の努力で完璧になります。頑張ってくださいね。

by ターク

## 基本4種類の中から

一つ目は関係代名詞が主格 **S** のものを説明します。

次の2文を1文にします。

Ken has a sister.  
S V O

・・・第一文（**共通部分** が代名詞でないので）

She plays the piano [well].  
S V O

・・・第二文（**共通部分** が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

Ken has a sister.

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

Ken has a sister she plays the piano well

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

Ken has a sister she plays the piano [well]  
S V O S V O

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

Ken has a sister who plays the piano well.

a sister が先行詞

第二文の共通部分 she が、人で主語Sなので who になる。

Ken has a sister who plays the piano [well].  
S V O M<sub>1</sub> S' V' O'

M<sub>1</sub>: 形容詞節

ケンには、上手にピアノをひく妹がいます。

### 関係代名詞の選び方

|     | S          | 所有格   | O, C  |
|-----|------------|-------|-------|
| 人   | <u>who</u> | whose | whom  |
| 物   | which      | whose | which |
| 何でも | that       | ×     | that  |

<ここで解析>

### マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

This is a letter.  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

It was written [by Keiko].  
S V

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

This is a letter

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

This is a letter it was written by Keiko

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

This is a letter it was written [by Keiko]  
S V C S V

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

This is a letter which was written by Keiko . a letter が先行詞

第二文の共通部分 it が、物で主語Sなので which になる。

This is a letter which was written [by Keiko].  
S V C M<sub>1</sub> S' V'

<ここで解析>

M<sub>1</sub>: 形容詞節

これは、敬子によって書かれた手紙です。

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'  
のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

She is the girl.  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

She can run [very fast].  
S V

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

She is the girl

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

She is the girl she can run very fast

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

She is the girl she can run [very fast]  
S V C S V

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

She is the girl who can run very fast . the girl が先行詞

第二文の共通部分 she が、物で主語Sなので who になる。

She is the girl who can run [very fast].  
S V C M<sub>1</sub> S' V'

<ここで解析>

M<sub>1</sub>: 形容詞節

彼女は、大変早く走ることができる女の子です。

#### マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

The house is strong .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

It was built [by him] .  
S V

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The house

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The house it was built by him

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The house it was built by him is strong  
S S V V C

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The house which was built by him is strong . the house が先行詞

第二文の共通部分 it が、物で主語Sなので which になる。

The house which was built [by him] is strong .  
S M<sub>1</sub> S' V' V C

<ここで解析>

M<sub>1</sub> : 形容詞節

彼によって建てられたその家は、強いです。

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

The boy is Takeshi.  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

He is playing the piano.  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The boy

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The boy he is playing the piano

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The boy he is playing the piano is Takeshi  
S S V O V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The boy who is playing the piano is Takeshi. the boy が先行詞

第二文の共通部分 he が、人で主語Sなので who になる。

The boy who is playing the piano is Takeshi .  
S M<sub>1</sub> S' V' C' V C M<sub>1</sub>:形容詞節

ピアノをひいている少年は、剛史です。

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'  
のどれかが欠けます。



次の2文を1文にします。

The woman is Kathy .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

She has blue eyes .  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The woman

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The woman she has blue eyes

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The woman she has blue eyes is Kathy  
S S V O V C

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The woman who has blue eyes is Kathy .

The woman が先行詞

第二文の共通部分 she が、人で主語Sなので who になる。

The woman who has blue eyes is Kathy .  
S M<sub>1</sub> S' V' O' V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

青い目をしている女性は、キャシーです。

### 関係代名詞の選び方

|     |            |       |       |
|-----|------------|-------|-------|
|     | S          | 所有格   | O, C  |
| 人   | <u>who</u> | whose | whom  |
| 物   | which      | whose | which |
| 何でも | that       | ×     | that  |

<ここで解析>

### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

## 先行詞の説明

まず、先行詞は100%名詞です。

また通常、先行詞は関係代名詞の直前に有りますが  
先行詞と関係代名詞がすごく離れている場合

先行詞の前に **that** を書き、この **that** の後ろが先行詞  
ですよと指示する場合があります。

これを後方明示の **that** といいます。 もちろん、  
先行詞が複数なら **that** は **those** になります。

次に、whose は、that に書き換えられませんが、  
who、whom、which に関しては全て that に  
書き換えてもかまいません。

ただし、**疑問詞** が有る時や

**先行詞** に 形容詞の最上級、序数、the first , the last  
all , the only , the very , the same , ~ thing  
を含む場合は、**that** になります。

## 基本4種類の中から

二つ目は関係代名詞が目的格 **O** のものを説明します。

次の2文を1文にします。

These are some books.  
S   V   O

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

She wrote them.  
S   V   O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

These are some books

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

These are some books them she wrote

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

These are some books them she wrote  
S   V   O   O   S   V

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

These are some books which she wrote .      some books が先行詞

第二文の共通部分 them が、物で目的語Oなので which になる。

These are some books which she wrote .  
S   V   O   M<sub>1</sub> O'   S'   V'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

これらは、彼女が書いた本です。

### 関係代名詞の選び方

|     |       |       |              |
|-----|-------|-------|--------------|
|     | S     | 所有格   | O, C         |
| 人   | who   | whose | whom         |
| 物   | which | whose | <u>which</u> |
| 何でも | that  | ×     | that         |

<ここで解析>

### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S   O   C   O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

She is the girl.  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

Everyone knows her [very well].  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

She is the girl

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

She is the girl her everyone knows very well

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

She is the girl her everyone knows [very well]  
S V C O S V

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

She is the girl whom everyone knows [very well]. the girlが先行詞  
第二文の共通部分 her が、人で目的語Oなので whom になる。

She is the girl whom everyone knows [very well].  
S V C M<sub>1</sub> O' S' V' M<sub>1</sub>: 形容詞節

彼女は、みんながよく知っている女の子です。

#### 関係代名詞の選び方

|     |       |       |             |
|-----|-------|-------|-------------|
|     | S     | 所有格   | O, C        |
| 人   | who   | whose | <u>whom</u> |
| 物   | which | whose | which       |
| 何でも | that  | ×     | that        |

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

He is the teacher.  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

We likes him [very much].  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

He is the teacher

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

He is the teacher him we like very much

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

He is the teacher him we like [very much]  
S V C O S V

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

He is the teacher whom we like [very much] . the teacher が先行詞  
第二文の共通部分 him が、人で目的語Oなので whom になる。

He is the teacher whom we like [very much] .  
S V C M<sub>1</sub> O' S' V'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

彼は、私たちが大好きな先生です。

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

The students are tall.

S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

I saw them [yesterday].

S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The students

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The students them I saw yesterday

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The students them I saw [yesterday] are tall

S O S V V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The students whom I saw yesterday are tall.

the students が先行詞

第二文の共通部分 them が、人で目的語Oなので whom になる。

The students whom I saw [yesterday] are tall.

S

M<sub>1</sub>

O' S V'

V C

M<sub>1</sub>: 形容詞節

私が、昨日会った生徒達は背が高いです。

#### マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれか一つが欠けます。



次の2文を1文にします。

The bus is very big .

S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

They made it [last year] .

S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The bus

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The bus it they made last year

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The bus it they made [last year] is very big

S O S V V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The bus which they made last year is very big .

the bus が先行詞

第二文の共通部分 it が、物で目的語Oなので which になる。

The bus which they made last year is very big .

S M<sub>1</sub> O' S V'

V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

私が、昨日会った生徒達は可愛かった。

#### マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

The woman is very kind  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

We love her .  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The woman

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The woman her we love

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The woman her we love is very kind

S O S V V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The woman whom we love is very kind

the woman が先行詞

第二文の共通部分 her が、人で目的語Oなので whom になる。

The woman whom we love is very kind .  
S M<sub>1</sub> O' S V' V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

私たちが愛している女性は、たくさんの愛を持っています。

#### マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれか一つが欠けます。



## 関 係 代 名 詞 の 省 略

関係代名詞が、目的格の **whom which that** の場合省略してもよい。

ただし、前置詞の目的格の場合

次の二文より文法を理解して下さい。

この場合は、省略できません。

This is a chair **on which** she sat.

この場合は、省略できます。

This is a chair **which** she sat **on** .

## 基本4種類の中から

三つ目は関係代名詞が前置詞の目的語 **O** のものを説明します。

次の2文を1文にします。

This is the house.  
S V C

・・・第一文（共通部分 が代名詞でないので）

They live [in it].  
S V

・・・第二文（共通部分 が代名詞なので）

共通部分が前置詞の目的語なので前置詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

This is the house

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

This is the house in it they live

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

This is the house [in it] they live  
S V C S V

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

This is the house in which they live .

the house が先行詞

第二文の共通部分 it が、物で目的語Oなので which になる。

This is the house which they live in .

でもOKです。

This is the house [in which] they live .  
S V C M<sub>1</sub> S' V'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

こちらは、彼らが住む家です。

関係代名詞の選び方

|     |       |       |              |
|-----|-------|-------|--------------|
|     | S     | 所有格   | O, C         |
| 人   | who   | whose | whom         |
| 物   | which | whose | <u>which</u> |
| 何でも | that  | ×     | that         |

<ここで解析>

マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれか一つが欠けます。

次の2文を1文にします。

The chair is strong .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

She sat [on it].  
S V

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が前置詞の目的語なので前置詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The chair

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The chair on it she sat

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The chair [on it] she sat is strong  
S S V V C

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The chair on which she sat is strong .

the chair が先行詞

第二文の共通部分 it が、物で目的語Oなので which になる。

The chair which she sat is strong on . てもOKです。

The chair [on which] she sat is strong .  
S M<sub>1</sub> S' V' V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

彼女が座ったイスは、強いです。

関係代名詞の選び方

|     |       |       |              |
|-----|-------|-------|--------------|
|     | S     | 所有格   | O, C         |
| 人   | who   | whose | whom         |
| 物   | which | whose | <u>which</u> |
| 何でも | that  | ×     | that         |

<ここで解析>

マニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれか一つが欠けます。

次の2文を1文にします。

We have good friends.  
S V O

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

We go [to school] [with them].  
S V

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が前置詞の目的語なので前置詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

We have good friends

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

We have good friends with them we go to school

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

We have good friends [with them] we go [to school]  
S V O S V

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

We have good friends with whom we go to school. good friendsが先行詞  
第二文の共通部分 them が、人で目的語Oなので whom になる。

We have good friends whom we go to school with. でもOKです。

We have good friends [with whom] we go to school].  
S V O M<sub>1</sub>

M<sub>1</sub>: 形容詞節

私達は、いっしょに通学する親友がいます。

#### マニュアル

- 1) 第一文の共通部分まで書く。
- 2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。
- 3) 第一文の残りが有れば付け足す。
- 4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

完全に解った方は、確認。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

S O C O'

のどれか一つが欠けます。



## 基本4種類の中から

四つ目は関係代名詞が所有格のものを説明します。

次の2文を1文にします。

He has a friend.

S V O

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

Her brother is a Math teacher.

S V C

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

He has a friend

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

He has a friend her brother is a Math teacher

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

He has a friend her brother is a Math teacher

S V O S V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

He has a friend whose brother is a Math teacher.

a friendが先行詞

第二文の共通部分 her が、人で所有格なので whose になる。

He has a friend whose brother is a Math teacher.

S V O M<sub>1</sub> S' V' C'

M<sub>1</sub>: 形容詞節

彼は、兄弟が数学の先生である友達がいます。

マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

S O C O'

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

のどれかが欠けます。

次の2文を1文にします。

The girl is pretty .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

Her hair is black .  
S V C

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The girl

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The girl her hair is black

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The girl her hair is black is pretty  
S S V C V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The girl whose hair is black is pretty .

第二文の共通部分 her が、人で所有格なので whose になる。 the girl が先行詞

The girl whose hair is black is pretty .  
S M<sub>1</sub> S' V' C' V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

髪が黒いその少女は、可愛いです。

#### マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

S O C O'  
のどれかが欠けます。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

次の2文を1文にします。

He has a friend .  
S V O

・・・第一文（共通部分 が代名詞でないので）

Her brother is a Math teacher .  
S V C

・・・第二文（共通部分 が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

He has a friend

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

He has a friend her brother is a Math teacher

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

He has a friend her brother is a Math teacher  
S V O S V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

He has a friend whose brother is a Math teacher .

a friend が先行詞

第二文の共通部分 her が、人で所有格なので whose になる。

He has a friend whose brother is a Math teacher .  
S V O M<sub>1</sub> S' V' C'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

彼は、兄弟が数学の先生である友達があります。

#### マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

S O C O'  
のどれかが欠けます。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。



次の2文を1文にします。

She is a famous singer .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

We know her name [ well ] .  
S V O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

She is a famous singer

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

She is a famous singer her name we know well

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

She is a famous singer her name we know [ well ]  
S V C O S V

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

She is a famous singer whose name we know [ well ] a famous friend が先行詞  
第二文の共通部分 her が、人で所有格なので whose になる。

She is a famous singer whose name we know [ well ] .  
S V C M<sub>1</sub> O' S' V'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

彼女は、私たちがよく名前を知っている有名な歌手です。

#### マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

S O C O'

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

のどれか一つが欠けます。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。



次の2文を1文にします。

We can see the bright star .  
S      V      O

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

Everyone knows its name .  
S      V      O

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

We can see the bright star

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

We can see the bright star its name everyone knows

3) 第一文の残りが有れば付け足す。(無いのでそのまま)

We can see the bright star its name everyone knows  
S      V      O      O      S      V

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

We can see the bright star whose name everyone knows.

第二文の共通部分 its が、物で所有格なので whose になる。 the bright star が先行詞

We can see the bright star whose name everyone knows .  
S      V      C      M<sub>1</sub>      O'      S'      V'

M<sub>1</sub> : 形容詞節

私たちは、みんなが名前を知っているその明るい星を見ることができる。

#### マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

S      O      C      O'  
のどれかが欠けます。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

次の2文を1文にします。

The house is nice .  
S V C

・・・第一文（共通部分が代名詞でないので）

Its roof is red .  
S V C

・・・第二文（共通部分が代名詞なので）

共通部分が所有格なので直後の名詞も共通部分とする。

関係代名詞を使って、2文を1文にするマニュアル

1) 第一文の共通部分まで書く。

The house

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

The house its roof is red

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

The house its roof is red is nice  
S S V C V C

<ここで解析>

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

The house whose roof is red is nice .

第二文の共通部分 its が、物で所有格なので whose になる。 the house が先行詞

The house whose roof is red is nice .  
S M<sub>1</sub> S' V' C' V C

M<sub>1</sub> : 形容詞節

屋根が赤いその家は、立派です。

#### マニュアル

完全に解った方は、確認。

1) 第一文の共通部分まで書く。

枠の中つまり関係詞節内は、  
関係詞を取ると

2) 第二文の共通部分を前に出して残りを書き切る。

3) 第一文の残りが有れば付け足す。

S O C O'  
のどれかが欠けます。

4) 第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

## 関 係 副 詞 の 説 明

関係代名詞の前置詞の文の二文を再度並べました。

第二文の共通部分を関係代名詞に代える。

あ) This is the house in which they live .

い) The chair on which she sat is strong .

この二文はこの文で完成ですが、解析上

あ) の [ in which ]    い) の [ on which ]

の部分は、前置詞＋名詞より副詞であり

共に関係副詞 **where** に書き換えられる。

先行詞が場所なので関係副詞を **where** にしましたが、  
他にも関係副詞があり、次のページで紹介します。

## 注 意                      最 重 要

関係代名詞節内は、S O C O' (前置詞の目的語) のいずれかが欠けるが、  
関係副詞節内は S O C O' のいずれも欠けていない完結な文となる。  
この点が関係代名詞と関係副詞の違いです。

# 関係副詞の紹介

関係副詞は、where when why how の四種類。

代わりに that を使う事もある。

## 1) 先行詞が、場所

The city [ where ] we live is beautiful .  
S M<sub>2</sub> S' V' V C

## 2) 先行詞が、時

Do you remember the day [ when ] we [ first ] met ?  
S V O M<sub>2</sub> S' V'

## 3) 先行詞が、理由

The reason [ why ] she missed the plane was clear .  
S M<sub>2</sub> S' V' O' V C

## 4) 先行詞が、方法

This is the way [ how ] we made the cake .  
S V C M<sub>2</sub> S' V' O'

注意 先行詞 the way はふつう省略される。

以上となります。

関係代名詞と関係副詞は、合わせて関係詞と言います。

ここは英文法の中でややこしいと言われていますが、  
みなさんの理解に役立てればうれしいです。

タークの英語ドリルとして基本的な  
英語ドリルも出しています。

ネット塾清水 清水貴俊